

## 一般質問



徳田 議員

○ふるさと納税について

**質** 佐世保市は、ふるさと納税で日本一になった平戸市のやり方を全部取り入れて、その結果平戸市に追いついた。松浦市は、なぜ平戸市の方法を取り入れなかったのか。平戸市長の本を読んだが、そこには職員を信頼し、あとの責任は自分が持つと書いてある。松浦市は、今後どう対応していくのか。

**政策企画課長** 手法の導入に当たっては、それぞれメリット、デメリットがあると考えます。本市としては、当面は現在取り組んでおります方式を基本としながら、より効果的な手法がないか引き続き検討してまいりたいと考えております。

○原子力発電所対応について

**質** 使用済み燃料の再処理業者がどこなのか事前説明を受け、納得はしたのか。

**防災課長** 玄海原発1号機の廃止措置計画に関しては、国の原子力規制委員会が認可するうえで必要な安全審査基準に基づき電気事業者に対応

を求めているものであり、国の審査によって安全性は確保されているものと認識しています。再処理事業者についての説明はありません。

**質** 使用済み燃料プールには余裕がないと聞く。あとのくらの量の量が入るのか。期間の余裕はあるのか。乾式での保管もあると聞くが、安全性について事前説明は受けたのか。

**防災課長** 九州電力に確認したところ、保管本数を増やす工事を施せば、約13、14年先まで保管できるとのことです。また、乾式保管についての具体的な取り組みはないと聞いております。

**質** 隣接する自治体住民は、原発事故の恐怖にさらされ迷惑している。国から原発交付金などが入らないのは理不尽だとは思わないか。全国原発隣接自治体と連携し、国に交付金制度の改善を求めていく考えはないか。

**市長** 電源地域自治体で構成する九州地方電源地域連絡協議会がありますので、ご質問の件については、当協議会に本市のほうから提案したいと考えております。

その他公共工事の積算や安全管理などについてとつばき荘について質問をしました。

## 一般質問



立 鈴 議員

○上志佐小学校児童数減少に伴う諸問題について

**質** 上志佐小学校の生徒数の減少はどのように推移していますか。

**学校教育課長** 10年前の平成17年度には100名でしたが、その5年後には64名に、現在は57名で、28年度は49名の予定数となっております。

**質** そのように減少していることから、統廃合の対象になるのではないかと地元の地域振興会、区長会、PTA、育成会の4団体は請願を市議会に出され、市議会はこれを採択しました。市は、喫緊の課題としてこれに当たっていかねければなりません。どのようにしてこの廃校を防ぐかを、校区の見直しも含めて検討する必要がありますと考えます。また、子ども数を増やすための子育て世代住宅の建設をぜひ進めて頂きたいが、そのスケジュールを示してほしい。

**市長** 先に、田代、大崎、御厨小学校の統合を、本年4月からは福島と養源小学校が統合いたします。ご指摘のとおり上志佐小学校も非常に厳しい状況にあると認識しております。子どもを増やしていくためには校区内に住んで頂くことが重要で、その

ためには住宅対策を進める必要があります。28年度からは、まず住宅候補地の選定に取り組みたいと思っており、地元の皆さんと協議をして、用地の方向性が固まれば、どういう方法で整備していくかを検討してまいりたいと考えています。

○市内での企業資材調達及び商店街における購買力の向上施策について

**質** 市内には、素晴らしい匠の技によつて高品質の製品を生産している企業がたくさんあります。できるだけ市内企業の製品や資材を公共事業においても調達するように配慮すべきだと思う。また、市内の商店での購買意識を高め、地域の活気を向上させることが求められています。シヤッターがおりるような光景はなさなければならぬと思うが、考えを伺いたい。

**建設課長** 市発注の建設工事については、市内業者育成の観点から、市内業者を優先して発注するように努めております。また、業者の資材調達についても、発注の際の特記仕様書により県内生産品を使用するように明示しております。

**会計課長** 市の物品調達については、入札等を実施する場合には市内業者を優先指名し、また、一般の消耗品等についても市内業者からの購入を基本としております。